

ワクワクわ 新聞 第145号

発行日：平成30年1月15日(月)
発行者：若林ひろき 品川区議会議員



誘導。歩きやすい道路環境
地震避難対策。要配慮者支援
体制充実、地域サポート充実。
※来街者
【訪れる目的】
①買い物や観光44%②家族・友人が住んでいる28%
【魅力を感じるころ】
①交通の便が良い41%②商業施設が充実32%

ちょっといい話

サントリー創業者鳥井さんの“やってみなはれ”は失敗を恐れず挑みつけなさいということ。それが彼がしめした日本人の生き方です。そうした不屈の精神を今こそ、伝えたかった。(作家・伊集院静さん)
それまでの仕事だけが人生じゃない。セカンドステージで新しい人生を切り開くことは、プロで成績を上げることよりも素晴らしいことかもしれない。「俺も引退か」とくさるヒマがあったら、新しいことに挑まなきゃ。何でもいいんだ。(野球指導者・村田兆治さん)



品川区長期基本計画を検証

長期基本計画は、区サービス・事業の方向性を10年間にわたり見通し策定されている

ものです。まちのあり方を「にぎわい」「子育て・教育」「健康・福祉」「環境」「安全・安心」の5つの視点のもとに細かいサービス・事業が体系的に示されています。私も、10年前に計画策定委員会の一人として参画したので、感慨深いものがあります。

策定から9年が経ち、次の計画を準備する段階で、現計画の検証作業が行われています。まずアンケートが行われ、区民1300人、来街者50

0人から回答が得られました。アンケートの結果はどのようなものだったでしょうか。

【定住意向】

ずっと住み続けたい十当分は住みたい1190・3%

【定住意向の理由】

①交通の便が良い82%②土地になじみや愛着がある49%③買い物に便利45%等。治安がよい、子どもを育てやすいはそれぞれ上昇しています。

【定住を希望しない理由】

①周囲の環境がよくない28%②物価が高い25%③住宅に不満がある22%等。

【重視してほしい施策】

(分野別の上位)生涯スポーツ施設整備、生涯学習施設整備。都市型観光推進、商店街施設環境整備。待機児童対策、経済的に厳しい世帯支援。健診充実、救急医療体制充実。介護福祉施設等整備、高齢者就労の場確保。水と緑空間整備、徒歩・自転車や公共交通機関を利用する生活スタイルへの

学校選択・希望状況

今年も、来年4月の入学に向け選択申請の結果、必要な学校では抽選が行われました。希望が多かった小学校は、品川学園66人、豊の森学園64人、立会小61人、日野学園59人、第一日野小43人、御殿山小37人などでした。

その結果、抽選となった学校は、
【小学校】城南小、御殿山小、第一日野小、芳水小、第三日野小、大井第一小、山中小、立会小、浜川小、鈴ヶ森小、小山小、第二延山小、日野学

園、豊葉の杜学園(37校中14校)

【中学校】戸越台中、日野学園(15校中2校)

逆に、選択する児童が少なかった小学校は、三木小0人、第四日野小4人、鮫浜小1人、中延小4人、後地小5人、上神明小0人、清水台小1人
※改築などそれぞれの事情はあります。
クラスが増えるなど、教室を増やす必要のある学校が出てきます。教育委員会では、「多目的、少人数ルームなどを使っている。あるいは、メディアセンター・図書室は広いので、一緒にして教室を確保できないか」といった工夫やすまいるスクールの部屋を1年生の教室と午後の時間一緒に使うなど、何とか教室を確保している。特別支援学級やカウンセリング室に手をつけることはしていない」「特別支援教室の利用者数が増えている学校は、理科準備室と理科室に、パーティションを区切って、教室にする工夫をした学校もある。あるいは、体育館の舞台の部分を活用し特別支援教室のスペースを捻出する工夫は続けている」

私の本棚

「書く力」(池上彰・竹内政明/朝日新書)

仕事柄、文章を書く機会があります。緊張するのは、議会質問原稿。持ち時間20分で、原稿用紙にすると十数枚程度です。新人の頃は、うまいことを書くころ、きれいな文章を書くころと力みが入っていて、ご想像の通り、支離滅裂、何を言いたいのかさっぱりわからない、と先輩議員からお叱りを受けたものです。何冊も本を読み、理解してもらえる程度にはなったのではないかと、思っています。ただ、やはり奥深いものなのでしよう、もっと書けるようになりたい、と常に思っています。

「書く力」副題は、「私たちはこうして文章を磨いた」。元NHK記者の池上彰さんと読売新聞コラム・編集手帳を執筆する竹内政明さんが、対談形式で、互いの文章術の秘密を聞き出してしまおう、というものです。(つづく)